

1 . 調査の実施概要

1 - 1 調査目的

三重県では、平成 2 年に出入国管理法及び難民認定法が改正されて以降、外国人登録者数は年々増加しており、平成 1 6 年 1 2 月末現在外国籍住民の方は、4 3 , 6 2 1 人で県人口の 2 % を占めるまでに至っている。県内で働く外国人が増加するに従い、労働問題に関する相談、問題も生じている。

こうした状況を踏まえ、外国人の労働実態を把握するため調査を実施することとなった。

この調査は、今後、本県において外国人の働きやすい環境整備のため、結果を関係機関に広く公表し、施策検討の基礎資料として活用することを目的とする。

1 - 2 調査の設計、実施結果

調査期間

平成 1 6 年 1 1 月 1 7 日 ~ 1 2 月 3 1 日

調査方法

地域で外国人向けの相談等を行い、外国人と接する機会の多い以下の NPO にアンケートの配布、回収及び翻訳を委託した。(ポルトガル語、スペイン語の調査票を作成)

・ 通訳 NPO 伊賀の伝丸

伊賀地域を中心に、言葉の壁を乗り越えて住みやすい街づくりを目的として、通訳、翻訳、外国人向け生活相談等の活動を行っている。

・ U B J (絆・ブラジル・日本)

北勢地域を中心に活動する日本に在住するブラジル人の互助組織で、日本とブラジルの相互理解のため、地域のイベントへの参加等の活動を行っている。

対象者

三重県の企業で働く外国人

調査のカテゴリーが多すぎると個々のカテゴリーにおいて正確な結果を得られないため、県内に最も多く登録されている日系人(ポルトガル語、スペイン語圏)を対象として実施した。

回答者数

2 0 9 人

質問内容

回答者の属性、就業形態、労働条件、言葉、相談先について。

1 - 3 報告書の見方

- (1) 比率は全てパーセントで表示している。小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、パーセントの合計が 100 とならないこともある。
- (2) 回答者数は、N (全回答者数の場合) または n (一部の回答者数の場合) として表示している。パーセントは N または n を 100% として算出している。
- (3) 回答を 1 つだけ選ぶ質問の場合は SA、複数回答が可能な質問は MA と表示している。
- (4) 複数回答が可能な質問では、パーセントはその回答項目を選んだ人が回答者の内何%を占めるかを表示している。そのため、各回答項目の比率を合計すると通常は 100%を超える。
- (5) 今回は一部過去に行った以下の調査のデータと比較している。
 - ・ 平成 12 年 3 月発行 「県民意識調査及び外国人生活実態調査 報告書」
今回の調査対象である日系人と時系列でデータを分析するため、平成 12 年の調査結果から中南米出身者を抜き出し比較した。
 - ・ 平成 4 年 10 月発行 「外国人研修及び日系人雇用実態調査 報告書」
平成 4 年の調査は、日系人雇用企業と日系人労働者に対して、異なった設問で行っており、今回調査の設問と一致する項目について、それぞれの結果から抜き出して比較している。